

情報コーナー



■「夏の油山・自然観察ハイキング」

7月15日（日）10:00～13:00

幾本もの沢が流れる水の森を散策し、自然の涼しさを体験しながら夏の生きものを観察します。

対象：一般来園者 定員：なし

申込：不要 参加費：100 円/人

9:30 より自然観察センターで受付

■「油山の溪流・沢の生きもののウォッチング」

7月22日（日）・8月5日（日）

両日とも 10:00～13:00

サワガニやタゴガエルなど油山の溪流に棲む生きものを探してよく観察してみましょう。

対象：小学生（要保護者同伴） 定員：30 人

申込：往復ハガキ（7/22 の回は 7/16 必着、8/5 の回は 7/30 必着） 参加費：100 円/人

油山の樹木ア・ラ・カルト(29)

カブ森C地区に、ユリノキ（百合の木）の老木が1本。モクレン科の落葉高木、5～6月に直径6～7cmの黄緑色の花をつけ、基部がオレンジ色をしています。英名は花のイメージそのまま「Tulip tree」です。明治の初期にアメリカから種子が移入されましたが、チューリップが一般的でなかったため「ユリノキ」と呼ばれました。別名としては、葉の形からハンテンボク（半纏木）、ヤッコダコノキ（奴隸の木）、グンバイノキ（軍配の木）などがありますが、今風に「T-shirt tree」では如何でしょう。ユリノキとは、明治23年に大正天皇が皇太子の頃、小石川植物園で命名されたとか…。原産地の北米や中国では、樹高が60m以上にもなるらしく、高木仕立ての枝が横に広がって美しいため、街路樹や公園樹として全国各地に植栽されています。花言葉の「見事な美しさ」にたがわず、気高く美しい花なのに、高く茂った葉の間に隠れるため、その美しさに気づいて貰えないのがとても残念です。春に展開した明るいグリーンの新葉は、時間の経過と共に緑が色濃くなり、私達に大きな緑陰を提供してくれるので、ヒートアイランド現象の軽減に貢献しています。4～6裂の葉の主脈を中心に縦折りすると、寸分たがわず左右ピッタリ

合わさるから不思議！モクレン科の果実は、ゴツゴツした握り拳のような形をしています。ユリノキの果実は、上向きにマツボックリ状（蠟燭の木）に付き、約3cmの翼果を風任せで散布します。また、良質の蜜が得られる蜜源植物としても有名なので、ぜひ花の蜜を味わってみたいものです。

（安部 泰 男）

